



夕暮れに 歩行者を照らす 照(シヨウ)+time ～夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう～

9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。秋の日はつるべ落としと言われるように、急速に暮れる上、日没時刻が日増しに早くなることから、運転者にとっては歩行者や自転車の動きが見えにくくなります。視認性の悪い夜間における交通死亡事故など重大事故の発生が後を絶ちません。そこで、夜間におけるドライバーの視認性を向上させ、歩行者などとの交通事故を防止するため、対向車や先行車がない場合は、ハイビームを効果的に活用しましょう。



※ 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示で、走行用前照灯（ハイビーム）、すれ違い用前照灯（ロービーム）、それぞれ、夜間に前方を確認できる距離が定められています。

走行用前照灯	100m
すれ違い用前照灯	40m

夕暮れ時以降に外出する際は、反射材を身につけましょう。反射材が車の前照灯の光で反射し、ドライバーに自身の存在をアピールすることができ、交通事故防止に役立ちます。

また、光が当たらない場所でも自分の存在をアピールすることができる、自発光式のLEDバンド等を積極的に活用しましょう。

